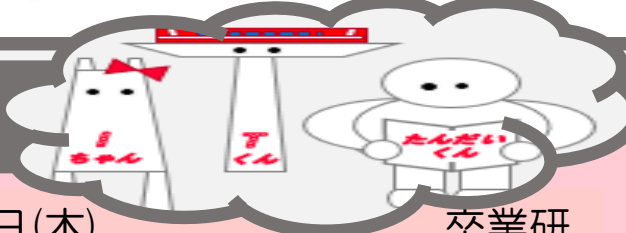




1 活かせるIT技術,成果報告



社会人基礎力を高める新聞活用



西丸佳音さん

3月9日(木)、卒業研究発表会(最終日:16名)が開催され、IT技術を活かした成果報告がありました。

西丸佳音さん(水戸商高卒)は、社会人基礎力を高める一助として新聞活用に注目し研究し、その支援システムも試作しています。これまでの調査研究から「新聞で活字を読み社会を知ることは、IT技術に必要」と話しています。新聞スクラップで学生の7割が書く力や要約力がついたと答えています。社会人基礎力の指向調査や新聞スクラップ入力フォームを試作しました。

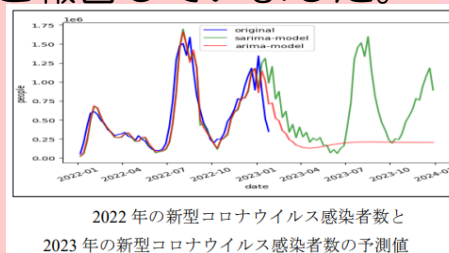


新型コロナウイルス感染者シミュレーション



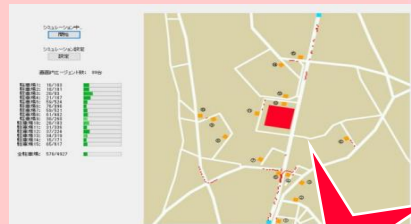
飯島朋樹さん

飯島朋樹さん(那珂高卒)は、IT技術と統計の学びを活かし、新型コロナウイルスの感染者シミュレーションを行いました。厚生労働省のオープンデータを活用し、1, 2週間程度の予測ができるシステムとなったと報告していました。シミュレーションからも、人の動きに大きく影響するので注意が必要と話していました。



卒業研究発表会の様子

田村太陽さん(鹿島高卒)は、IT技術、MAS(Multi agent system)を活用し、サッカースタジアム周辺の渋滞状況をシミュレーションしました。この研究では、事前に各駐車場の駐車台数等を調べ、渋滞対策に役立てる研究です。車の動きもリアル感がありました。



MASを用いたサッカースタジアム周辺の交通シミュレーション



3 卒業研究発表会を振り返る!

3月7日~9日に実施された卒業研究発表会について、長年、学生指導を担当した小林守専任講師に振り返っていただきました。

●本年度の特色はいかがですか?
各コース共に、オリジナな研究が目立ちました。

情報システムでは、オープンキャンパスで使えるメタバースや、ARやAIの活用など話題の技術が研究されていました。

生産管理では、※AWSを活用した農作業支援システムのように、農産物の支援やモノづくりに関する研究が紹介されました。

情報セキュリティでは、セキュリティ管理から大学で活用できるシステム構築、新聞活用による社会人基礎力など幅広い研究がありました。

※AWS: Amazon Web Services

●学生の発表姿勢については?
オンラインでない今回の発表会は、臨場感があり盛り上がりました。

2年生の、ロジカルな説明や質問への落ち着いた対応もあり、学生の成長が感じられました。1年生のメモを取り聞く姿勢が良かったと思います。

●目指すべき研究については?
本校では、少数精鋭、短期集中でITの専門技術を学んでいます。次代を担う皆さんが、社会に目を向け、課題発見とその解決に向けて主体的に取り組み、地域社会に貢献できるIT技術者を目指して欲しい。

卒業研究発表お疲れ様でした。皆さんのご活躍をご祈念申し上げます。



卒業研究を振り返る小林守専任講師

2 卒業研究発表からの学び②

本年度の卒業研究発表会は、久しぶりの対面による発表会となりました。2年生は、1年生を前にしっかりと発表していました。これまでの学びの成果が報告となりました。ここでは発表会に出席した1年生の感想を紹介します。

●情報システムコース1年 小橋未来さん(鉾田一高卒)

自分自身が成長できた3日間でした。特に、所属しているシステムコースの先輩方の発表が印象的でした。小林佑太郎さんの「モバイルプロジェクト型AR案内システムの製作」では、ハードウェアの知識を活かし製作したもので、オープンキャンパスで活用できるもので興味深い発表でした。

また、他のコースの発表内容も専門性の高い内容でとても勉強になりました。いろいろな分野の卒業研究のテーマを深く考え、私も十分に考えた研究に取り組んでいこうと思いました。



システム構成と使用例